

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

わたしの町のはずれに、一軒の古い洋館がありました。壁は少し黒ずみ、庭には雑草がしげっっています。子どものころから

「ちょっとこわい家だ」

と思っていたのですが、大人たちは

「あそこはむかし有名な発明家が住んでいたんだよ」と話していました。名前は松田誠一。いろいろな機械を作り、町の工場や学校を助けた人だそうです。けれども、その発明家は何十年前に亡くなり、家はずっと閉ざされたままでした。

ある日、学校の帰り道にその洋館の前を通ると、門のところに「一般公開」の紙がはってありました。町の人にむけて、家の中を見学できる日が来たのです。わたしは胸が高鳴り、友だちと一緒に行ってみることにしました。

館の中は、思ったより明るく、ほこりっぽいけれど不思議な雰囲気には満ちていました。壁には古い時計や写真がかけられ、机の上には奇妙な形の道具がならんでいます。ハンドルを回すと小さな羽根が動く機械、押すと光る箱、音を立てて回る歯車——どれも手作りなのに生きているように感じられました。二階に上がると、本棚にぎっしりとノートがつまっていました。表紙には「実験記録」「未来のアイデア」などと書かれています。わたしは一冊を手にとり、ページをめくりました。中には、失敗した図や何度も書き直した計算があり、成功までの苦労が伝わってきました。

そのとき、机の引き出しに小さな木箱を見つけました。開けると、中には折りたたまれた手紙が入っていました。そこにはこう書かれていました。

——この家を訪れた人へ。わたしは多くの発明を試みたが、成功もあれば失敗もあった。けれど一番大切なのは、失敗をおそれずに考え続けることだ。もし君が何かを作りたいと思ったなら、この言葉を思

い出してほしい。未来をつくるのは君たちなのだから。——

わたしはその手紙を何度も読み返しました。発明家が亡くなって何十年もたつのに、その思いはまだ生きていくのだと感じました。

帰り道、友だちが言いました。

「発明って、すごい人だけができるんじゃないかって、考え続けることなんだな。」

わたしはうなずきました。宿題や練習で失敗するとすぐに落ち込んでしまう自分を思い出しました。でも、本当に大切なのは失敗してもあきらめないことなのかもしれない、と。

家に帰ってから、わたしの頭の中にはあの手紙の言葉が響いていました。机の引き出しにしまっている自由研究のノートを取り出すと、途中であきらめかけていた実験をもう一度やってみようという気持ちになりました。小さな工夫でも、いつかだれかの役に立つかもしれない。発明家が残した「小さなひみつ」は、わたしの心の中に新しい光をともしてくれたのです。



(1) 本文によると、町のはずれにあった建物は何と書かれていますか。本文から書き抜きなさい。

(2) 発明家の家が公開され、筆者はどうしましたか。本文の内容に合うものを一つ選びなさい。

- ① 家族と行こうと思ったがやめた。
- ② 一人でこっそり入ってしまった。
- ③ 友だちと一緒に見学に行った。
- ④ 外から見るだけで帰った。

答え ()

(3) 次の文が本文の内容と合っているかどうかを判断し、正しければ○、ちがっていれれば×をつけなさい。

- () 発明家の机の上には「小さな羽根が動く機械」があった。
- () 押すと光る箱が机の上に置かれていた。
- () 自動販売機が発明家の机に置かれていた。
- () 音を立てて回る歯車の機械があった。

(4) 発明家の本棚にあったノートにはどのようなことが書かれていましたか。本文から二つ書き抜きなさい。

① _____

② _____

(5) 発明家が残した手紙の中で、一番大切だと伝えられていることを二十五字程度でまとめなさい。

(6) 筆者は手紙を読んで、自分のどんな行動を変えようと思いましたか。本文の内容に合うものを一つ選びなさい。

- ① 失敗をくり返すくらいなら、新しいことに挑戦するのをやめようと思った。
- ② 途中であきらめず、実験や工夫を続けることが大切だと思った。
- ③ 自分では考えず、成功した人のやり方をそのまままねしようと思った。
- ④ 成功するまでに時間がかかるので、研究は後回しにしようと思った。

答え ()

(1) 本文によると、町のはずれにあった建物は何と書かれていますか。本文から書き抜きなさい。

古い洋館

(2) 発明家の家が公開され、筆者はどうしましたか。本文の内容に合うものを一つ選びなさい。

- ① 家族と行こうと思ったがやめた。
- ② 一人でこっそり入ってしまった。
- ③ 友だちと一緒に見学に行った。
- ④ 外から見るだけで帰った。

答え (③)

(3) 次の文が本文の内容と合っているかどうかを判断し、正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

- (○) 発明家の机の上には「小さな羽根が動く機械」があった。
- (○) 押すと光る箱が机の上に置かれていた。
- (×) 自動販売機が発明家の机に置かれていた。
- (○) 音を立てて回る歯車の機械があった。

(4) 発明家の本棚にあったノートにはどのようなことが書かれていましたか。本文から二つ書き抜きなさい。

① 失敗した図

② 何度も書き直した計算

(5) 発明家が残した手紙の中で、一番大切だと伝えられていることを二十五字程度でまとめなさい。

解答例
失敗をおそれずに、未来をつくるため考え続けること。

(6) 筆者は手紙を読んで、自分のどんな行動を変えようと思いましたか。本文の内容に合うものを一つ選びなさい。

- ① 失敗をくり返すくらいなら、新しいことに挑戦するのをやめようと思った。
- ② 途中であきらめず、実験や工夫を続けることが大切だと思った。
- ③ 自分では考えず、成功した人のやり方をそのまままねしようと思った。
- ④ 成功するまでに時間がかかるので、研究は後回しにしようと思った。

答え (②)